

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会を開催する。	展示会開催回数	回	5	4	4	4
② 催物事業	収集及び作品募集した資料等の展示、コンサート等を開催する。	催物開催回数	回	28	28	20	18
③ 体験学習事業	体験学習会等を開催する。	体験学習会開催回数	回	30	21	26	32
④ 広報・集客業務	市広報紙やHPへの掲載等により周知や集客を行う。	市広報・HP掲載回数	回	24	24	24	12
⑤ 出前講演講座事業	依頼団体への出前講座を行う。	出前講演回数	回	2	4	3	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 博物館来館者数	博物館に入館した延べ人数	人	13,000	13,000	13,000	14,000
			10,498	12,418	12,818	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止した場合、来館者が激減し、玉名の歴史・文化の継承が出来なくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	来館者等が分かり易く、楽しめる新規事業の導入などの工夫と努力を続けてきたことから、毎年入館者は増えている。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	魅力ある企画展や催物事業等の開催により入館者数も年々増加傾向にあることから、特に改善等を要しないことから現状のまま継続するが、今後も博物館に一人でも多くの方が訪れていただけるように、地域や伝統行事にちなんだ展示や事業の充実を図っていく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	利用者が博物館に求める展示や催し等を模索するため、随時新しい試みが必要と考え実践している。今年度は玉名の魅力的な素材を活用し、玉名の魅力が十分に満喫できる体験学習「たまなまるかじり」を開催する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	玉名学と呼応ながら、従前より実施している体験学習等と相乗的な効果を及ぼす企画を模索立案し、更なる博物館の発展のため各種事業を推進する。	評価責任者 中山富雄
------------------	---	---------------